

みどり市立東中学校

令和2年3月26日

学校だより

第 40 号

AZUMA JUNIOR HIGH SCHOOL NEWS

温かい声援を背に

13日(金)、ご来賓の皆様と保護者の皆様の見守る中、第73回卒業式が厳かに行われ、2名の卒業生が無事に笑顔で巣立っていきました。

新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休校となったため、職員が協力して卒業式会場準備に取り組みました。当日は来賓の方をお二人とし、祝辞等も取りやめたため、例年に比べ少しひっそりとした卒業式ではありましたが、温かい心だけはいつも以上にこもった式となりました。

最後の学活を終了後、在校生、職員、保護者の皆さんが作った花道を、担任を先頭に二人とも笑顔で堂々と歩き、晴れやかな門送りとなりました。

1・2年生のみなさん、いよいよ皆さんの出番です。素晴らしい伝統を受け継いでいけるように、力を合わせて頑張りましょう。



みどり市標準学力調査の結果から

1月9日に、1・2年生は標準学力調査を受けました。この調査は、生徒ひとり一人の優劣を見るものではなく、一年間の学力の定着度や生徒の学力面での成長を見るためにみどり市内全部の学校で毎年実施しています。

今回の東中学校全体の結果は、1年生は英語で全国値を上回りましたが、国語・理科・社会については全国値を下回りました。2年生については、全ての教科で全国値を下回る結果となりました。各教科において、それぞれの教科担当が少人数を生かした、個に応じた指導を工夫して行ってきましたが、一年間の学習の定着が図れなかったことを真摯に受け止めたいと思います。

既に教科ごとにどんな問題で躓いているのか分析を行いました。また、これまでの各教科の指導についても振り返りを行い、新型コロナウイルス感染症対策による未履修部分の補習も含め、新年度の指導に向け学習計画を見直しています。

さらに、一人一人の生徒がどの教科のどの分野が苦手なのかを各教科担当が把握し、個々の対応をこれまで以上に丁寧に行っていきます。

生徒には、個人票が配られています。この個票をよく見て、自分はそれぞれの教科のどこが得意なのか、そして弱点はどこなところなのか、その弱点を克服するためには何をしたら良いのかをしっかりと考えてほしいと思います。新学期が始まるまでの期間を上手に使って復習を行い、新しい学習に備えておくことが望まれます。

2年生の進学先はまだ定まっていないと思いますが、1年後の高校受験に向けてできることは早めにしていくと選択肢が広がってくると思います。まずは自分の課題をしっかりと把握し、結果を次に生かして行く積み重ねが何より大切です。

校長室から

本日、無事に修了式を迎えることができました。保護者の皆様をはじめ、地域の皆様が本校の教育活動をご理解くださり、支えてくださったお陰であると心より感謝しております。一年間、大変お世話になりました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として休校という措置がとられたため、3月はほとんど登校することなく修了式を迎えることとなりました。当たり前前に一日が終わることのありがたさを強く感じます。

一年間は後から振り返ると早いものです。みなさんの成長した所はどんなところでしょうか。

本校の学校教育目標の具体目標として「自ら学ぶ生徒」「自ら鍛える生徒」「自ら奉仕する生徒」が掲げられています。共通しているのは「自ら」ということです。東井義雄さんの詩にこんなものがあります。

人間の目は ふしぎな目
見ようという心がなかったら 見ているも見えない
人間の耳は ふしぎな耳
聞こうという心がなかったら 聞いていても 聞こえない
頭も そうだ
はじめからよい頭 わるい頭の 区別があるのではないようだ
「よし、やるぞ！」と 心のスイッチが入ると
頭も すばらしいはたらきを しはじめる
心のスイッチが 人間を つまらなくもし すばらしくもしていく
電灯のスイッチが 家の中を明るくもし 暗くもするように

この「心のスイッチ」を入れるのは誰でしょう。他の人が助けや、何かの拍子に入ることもあるかもしれませんが、スイッチを入れるのはやっぱり自分自身です。そのためには、まず自分なりの目標を持つこと、そして実現のための1歩を踏み出すことです。みんなが持っている心のスイッチさえ入れれば、きっと頑張ることができるはずです。今から心のスイッチを自分で入れてみましょう。

4月からみなさんがさらなる活躍をしてくれることを心から期待しています。

